

参加費無料 事前登録制

ご招待状

RICOH

2024年 リコージャパン 3Dソリューションフォーラム 3Dプリンター最新動向体感セミナー&展示



**同時開催：
リコージャパン 産業ソリューション商品展示**

日時 2024年9月4日(水)
場所 熊本産業展示場 グランメッセ熊本 大会議室

3Dプリンターにご関心をお持ちの皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年新春に開催させて頂き、皆様より大好評を頂きました「リコージャパン3Dソリューションフォーラム」を開催いたします。製造業に従事されるお客様におかれましては3Dプリンター活用による開発・設計・生産の効率化、開発期間・費用の節約などで活用頻度や用途も拡大してきており、多くのお問い合わせを頂いております。今回も最新の3Dプリンターの実機・稼働体験に加え金属プリンターの動向、MROと最新製品動向など高い知見をお持ちの講師陣をお招きし、セミナーを開催いたします。

合わせて、リコージャパン 産業ソリューション製品の共同展示をいたします。

是非、この機会に皆様のご来場を心よりお待ちしております。

2024年 リコージャパン

セミナープログラム

3Dプリンターの最新トレンドと人気の新製品など様々な情報をご紹介します。
この機会に皆様のご来場を心よりお待ちしております。

9月4日(水)	セミナー	セミナー概要
<p>イチ押し</p> <p>13:00-13:45 定員 20名</p>	<p>金属3Dプリンター使いこなし術を伝授します！</p> <p>金属3Dプリンター技術を上手に使いこなすための考え方 ～金属3Dプリンターの活用事例と成功のポイント～</p> <p>金属技研株式会社</p>	<p>金属プリンターに興味はあるが、高コストイメージと品質不安を理由に部品生産を断念した経験はありませんか？金属プリンターは加工法の1つであり、単一工程のみで理想とする高付加価値な部品の製作するのではなく、造形品に従来工法である熱処理、溶接、ろう付、HIP処理を併用することで、品質不安を解消しつつコストバランスをとることが出来る場合もあります。</p> <p>本セミナーでは、弊社が実際に受託生産する造形事例からコスト低減が図れる形状から造形、後熱処理、仕上加工までの工程と3D造形による効果・メリットをご紹介します。</p>
<p>14:15-15:00 定員 20名</p>	<p>3Dプリンター活用テクニックを伝授いたします！</p> <p>「リコー3Dプリンター出力サービス」を有効活用する方法 ～元設計技術者が語る試作・生産用途での活用事例～</p> <p>リコージャパン株式会社</p>	<p>「リコー3Dプリンター出力サービス」が開始されて約10年。樹脂材料をメインにした本サービスは、大手から中小製造業の研究・試作・開発用途を中心に多く利用されており、大変ご好評を頂いています。</p> <p>本セミナーでは、リコー出力サービスの概要からサービスの流れ、提供範囲、活用事例などをご紹介します。なぜ、リコー出力サービスが選ばれているのか？どのような用途・場面で3Dプリンターを活用し、ご評価頂いているかを、リコーの元設計技術者が解説いたします。</p>
<p>新製品 最新トレンド</p> <p>15:30-16:15 定員 20名</p>	<p>最先端・最新3Dプリンター活用セミナー</p> <p>サプライチェーンを革新するAMを活用したデジタルMRO生産 ～最新 MROパーツ生産向け3Dプリンタ「FX10」のご紹介～</p> <p>株式会社データデザイン</p>	<p>近年、製造業において様々な課題がある中、製造プロセスのデジタル化がより重要となってきております。そこで近年、注目されているのは、製品の製造過程で必要となるMRO（副資材）のオンデマンド生産実現です。そのためには、サブトラクティブ（切削加工）とアディティブ（3D積層造形）の使い分けが重要となります。</p> <p>本セミナーでは、アディティブ（3D積層造形）にフォーカスを置いて、MROパーツ製造に3Dプリンタがどのように活用されているかと製造を意識したAMプラットフォームの重要性についてをご紹介します。また4月に国内販売を開始した最新のMRO製造向け3Dプリンタ「FX10」の詳細もご紹介させていただきます。</p>
<p>16:45-17:15 定員 20名</p>	<p>熊本県産業技術センターのご紹介</p> <p>熊本県産業技術センター</p>	<p>熊本県産業技術センターは、県内産業の振興を図ることを目的として熊本県が設置した技術支援機関です。県内の多様な産業を支える技術部門となり、新たな価値の創出に挑戦する企業に、技術相談、設備開放、依頼試験・分析、共同研究開発等の技術的な支援や技術の高度化に対応する人材育成の機能を提供することで、その付加価値を高め、競争力を強化することを重要なミッションとしています。</p> <p>また、地域の企業が県内外の組織と連携する際の橋渡し役を担い、企業の研究開発から事業化までを伴走支援します。</p> <p>本年3月に導入した3Dプリンター「FX20」をはじめ、製品品質向上や生産工程の合理化、新技術や新製品開発など必要に応じて利用できる設備や機器があり、各種の試験、検査、分析、測定、あるいは加工等を行う設備を利用できるように開放しています。</p> <p>本セミナーでは、設備紹介や利用方法など、センターについてご紹介いたします。</p>

※講演内容、タイトル、講師は予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。

セミナーと連動した3Dプリンターで様々な用途で活用されている造形事例サンプルをご体感頂けます。

高生産 & 高強度な3Dプリンターでデザインする！

最先端技術を結集した新製品 Markforged社 FX10の実機並びに有効な活用造形事例、4月に発売されましたFormlabs社 Form4の実機・サンプルをご紹介します。

Markforged社 FX10

最新製品



カーボンファイバーの連続繊維を内部積層する独自のFFF方式で、治具・機能試作パーツを高品位で高強度を従来の3倍の高速造形できます。

圧倒的なハイスピードと高精細・表面品質を両立したFormlabsの新製品

Formlabs社 Form4

最新製品



3Dプリンターサービスをかきこく“使いこなす”！

リコー 3Dプリンター出力サービスでは、リコーの設計従事者がお客様の造形データチェック・造形のためのアドバイス・支援を行います。是非、高品位な3Dプリンター造形テクニック、3DCAD設計上の配慮などのお困りごとをお気軽にご相談ください。



3Dプリンターで資源循環に貢献する！

使用済プラスチック材料を3Dプリンタを用い新たな製品へアップサイクルしていく取り組みを実際の造形サンプルでご紹介いたします。

Slab ベレット式3Dプリンター GEMシリーズ サンプル

プラスチックに木粉を混ぜて、資源の節約を実践



3Dスキャナーの活用について提案いたします

昨今様々な用途で活用されてきているポータブルな3Dスキャナーの人気機種を体感頂けます。※品質管理、リバースエンジニアリング、デジタルアーカイブなど



2024年 リコージャパン 3Dソリューションフォーラム 熊本会場はこちら

日時：2024年9月4日(水) 13:00-17:30

場所：熊本産業展示場 グランメッセ熊本 大会議室

<https://www.grandmesse.jp/default.html>

〒861-2235 熊本県上益城郡益城町福富1010

車でお越しのお客様、公共交通機関・タクシーでお越しのお客様
詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.grandmesse.jp/kiji0035/index.html>

お申込みはこちら



<https://blogs.ricoh.co.jp/3dp-seminar/20240904-SF-Kumamoto.html>

協力
金属技研株式会社
株式会社データ・デザイン
日本3Dプリンター株式会社 他



RICOH Digital Services

リコージャパン株式会社

〒105-8503 東京都港区芝3-8-2

RICOH 3D PRINT ONLINE

<https://www.ricoh.co.jp/3dp>



スマホ・
携帯OK

3Dプリンターご購入前の相談はこちら



0120-310-462

受付時間 (平日)

9:30-17:00

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

同時開催：リコージャパン 産業ソリューション商品展示

弊社では、製造業のお客様へのソリューションとして様々な商品・ソリューションをご提案させて頂いております。今回、併設出展といたしまして、以下の2製品の実機・展示並びに稼働デモンストレーションを行います。合わせて、ご覧いただき実効果をご体感頂ければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

①リコー 無人搬送車 M2

簡単な走路設計 / 運行指示

- 走路構築は市販の黒色ビニールテープでOK -
 黒色ビニールテープでカンタンコース設定できます。
 また、コースの修正/変更を容易に行うことができます。
 運行指示データは、手持ちのパソコンで作成、
 AGV搭載のタブレットPCへ取り込み可能
 最小旋回半径R600mmで狭い場所でも走行できます。



②作業検査カメラ RICOH SC-20

作業中も作業後もデジタルで画像検査

作業途中に画像認識で組み立て状況を自動チェック。
 目視検査のデジタル化で、検査のばらつきを防げます。

トレーサビリティーを確保

部品のシリアルナンバーや作業時間などの実績に加え、
 OK/NG両方の検査結果を画像ログとして保存できるので、
 作業分析やトレーサビリティーに活用できます。

